

発行：利尻島自然情報センター 利尻町沓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 E-mail:kazuki@h2.dion.ne.jp

2018年第2回は少数精鋭の駆除会！！

6月23日（土）、今年第2回目の駆除会を実施しました。天気予報は雨の予報でしたが、時々晴れ間も見えて、汗ばむくらいの天候になりました。参加者は、島内からアクティブレンジャーを含め5人、稚内から利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティア1名の総勢6人と少な目でしたが、オオハンゴンソウ682本を駆除しました。



参加者数の関係もあり、少数精鋭ということで、これまで駆除が手薄になっていた沼北側の前線となる水路付近を集中的に作業しました。この付近は、笹の繁茂している中にオオハンゴンソウが分布しているという非常に厄介なところ。実際、道具の爪が中々入り込まないと、根茎が大きく、かなり難儀しながらの作業になり、あちこちから溜め息が聞こえる位でした。

参加いただいた皆さま、大変お疲れ様でした。7月は南浜湿原での駆除会をお休みしますが、北麓野営場とオタトマリ沼での駆除会に、是非ご参加ください。

2018年第3・4回駆除会

7月は、二つの駆除会を実施します。場所、日時等は以下の通りです。

【コマドリプロジェクト共催駆除会】

- 日 時：7月16日（月・祝 海の日）午後1時半から3時まで
- 場 所：北麓野営場管理棟
- その他：北麓野営場から甘露泉までの遊歩道脇のコバノハイキンポウゲを主とした駆除会。小雨決行。

【オタトマリ沼駆除会】

- 日 時：7月29日（日）午前9時半から11時半まで
- 場 所：オタトマリ沼駐車場
- その他：湖畔沿い遊歩道のブタナヤコウリントンポポ等を主とした駆除会。小雨決行。

これまで、そして、これから

あれから、9年…。沼浦海岸のオニハマダイコンは、どうなったでしょう？ 結局、昨年も1,041本を駆除するなど、一向に無くなる気配を見せません。

今年も、気になりながら、もしも一面に実生個体が出ていたらと思うと、気が重くて中々行くことが出来ずに、覚悟して6月16日に行ってみると、何と実生個体が一面に出ているではありませんか…。一体全体、どうしたって言うのでしょうか。成熟個体は残していないので、多分休眠種子が砂の中に相当あるということでしょうか…。その日、駆除した数は569本でしたが、時間がなく全てを駆除できませんでした。

あれから9年間、駆除を続けても未だ根絶出来ないのですから、かなりの手強さです。とにかく「抜くだけだ」と自分に言い聞かせてはみるものの、時には「もう良いか…」と思ってしまうのも正直なところ…。どうしたものでしょう…。



	種富湿原	南浜湿原	オタトマリ沼	仙法志	沓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年実績	5,330本	66,865本	381本	8本	4,814本	0本	0本	77,398本
2018年実績	3,594本	45,483本	12本	0本	0本	0本	0本	49,044本

2018年実績は、6月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成30年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）